

☆ 落ち葉でたい肥づくりをしました (11月29日) ☆

今年最初のサポーターズだより。ご無沙汰しております、すみません。みなさまお元気でおられますでしょうか？今号は昨年11月の活動「落ち葉でたい肥づくり」の様子をお届けします。

この日は、愛媛大学でちっちゃい昆虫の研究をしている筆者の友人、佐藤くんをゲストに「たい肥と昆虫」について話してもらいました。たい肥の中には、落ち葉等を食べて分解する虫、菌を食べる虫、それらの虫を食べる虫、そこで冬越ししている虫などなど、いろんな虫がそれぞれの理由があってたい肥で暮らしているようです(資料冊子を希望される方はお申し出ください)。

彼のちっちゃい昆虫コレクションも顕微鏡で見せてもらい、“きれい”“かわいい”など、いつもと違う虫の魅力を感じることができました。

たい肥づくりは、まずは落ち葉や刈り草を集めるところから。途中、ナメクジの卵(“山のキャビア”と命名！)を発見したり、冬眠中のアカガエルを起こしてしまったり、楽しい出会いがありました。たい肥わくに集めた落ち葉を入れて、米ぬかなどを入れながらふみ固めていけば準備完了。あとは春と梅雨明け時に切り返し(天地返し)をすると1年ぐらいで完成です。

いいたい肥ができるかな？



落ち葉をかいて集めます。



落ち葉をたい肥わくにに入れてふみ固める佐藤くん。



落ち葉をかいてると、何かのたまごを発見！
しばらくしたらナメクジの赤ちゃんができました。
ヤマナメクジ(15cmもある大なめくじ)のかも？



1mmくらいの小さな昆虫をのぞいてみました。
(右上:キスイムシの仲間・右下:ケシキスイの仲間)